

【成果報告】

仏説毘沙門天王秘密蔵王呪経

翻刻・対校・訓読

前
島
信
也

【成果報告】

仏説毘沙門天王秘密藏王呪経 翻刻・対校

前島 信也

凡例

- 一、これは七寺一切経の一具である『仏説毘沙門天王秘密藏王呪経』の翻刻である。七寺一切経本は首欠のため、当該箇所は大谷大学図書館所蔵『秘密儀軌集』巻第二収録本によって翻刻し、七寺一切経現存箇所からは、大谷大学図書館所蔵本を校本として用いた。
- 一、翻刻の行取は底本の通りとし、適宜句点を補いながら翻刻した。用字については原則通用字体を使用するが「无」、「恵」「慧」については底本のまま表記した。誤写等についてもそのまま表記した。また、虫損等によって判読できない箇所については□で示し、残画か

- ら判断した場合は「」で括り示した。
- 一、大谷大学所蔵本において調点・仮名が付される場合は、それも併せて翻刻した。
- 一、七寺一切経本と大谷大学図書館所蔵本の対校箇所において、訓読で採用する文字に傍線を付した。

この翻刻・訓読に際して七寺様、大谷大学図書館様より御高配賜りましたこと、ここに記して感謝申し上げます。

佛説毗沙門天王秘密藏王呪経

三藏法師恵情奉 詔譯

如是我聞一時佛在薄伽梵北方鬱檀林宅中與大
 苾芻衆万二千人俱皆是大阿羅漢衆尔時會中有
 一菩薩摩訶薩名曰救脱菩薩即是菩薩而為上首
 復有八千菩薩及天衆復次會中有一大王名曰毗
 沙門天王護世者履有是王之前後二十八部使
 者并八万四千使者而天王衛護即是王通三世善
 利之
 尔時會中有救脱菩薩即從座而起合掌向佛而作

仏説毘沙門天王秘密藏王呪経

三藏法師恵情奉 詔訳

如是我聞。一時仏在薄伽梵北方鬱檀林宅中。与大
 苾芻衆万二千人俱。皆是大阿羅漢衆。爾時會中有
 一菩薩摩訶薩。名曰救脱菩薩。即是菩薩而為上首。
 復有八千菩薩及天衆。復次會中有一大王。名曰毘
 沙門天王護世者。履有是王之前後⁽¹⁾二十八部使
 者并八万四千使者。而天王衛護。即是王通三世善
 利之。

校注

(1) 是是：衍字か。訓読では一文字とする。

爾時會中有救脱菩薩。即從座而起合掌向仏。而作

「四丁才

是言以何因緣之方便名曰毘沙門天王護世者爾
時佛告救脫菩薩言善哉善哉善男子於前汝門能
有大利汝等當知善能諦聽於當思念之事我
今為汝說大王之弘願法若聞汝等者當應生大信
力
爾時佛語救脫菩薩及會中大衆等而是毘沙門天
王護世者於我往昔說法中而發大誓願然天王誓
言若於未來世一切衆生之取願求万種之事乃至
无上菩提之善利遂不呆者我誓不名毘沙門天王
護世者若有善男子善女人等之種々意欲種々福

農利種々善根利種々男子種々女子種々農或乃至
言產業或後人間愛念或官位冠祿或求夫或求婦
或乃至推覓一切福利之事及為无上菩提之修行
善根法若在家若出家若山林若舍宅中而造修檀
法或燒香燈油乃至以時花供養六時求法利於當
知如是諸人衆者必如前思求一切世間出世福德
之事九不滿足如是毘沙門天王護世者弘誓之深
如海汝等救脫能思念之而應後天王之所說法亦
時救脫菩薩復白佛言善哉善哉善哉善哉善哉善哉
願如昔今諸佛所說法今我等能應受是法於當天

是言。以何因緣之方便名曰毘沙門天王護世者。爾
時佛告救脫菩薩言。善哉々々。善男子於所汝門能
有大利。汝等當知。善能諦聽々々。於當思念之事我
今為汝說大王之弘願法。若聞汝等者當應生大信
力。

爾時佛語救脫菩薩及會中大衆等。而是毘沙門天
王護世者於我往昔說法中而發大誓願。然天王誓
言。若於未來世一切衆生之所願求万種之事。乃至
无上菩提之善利。遂不呆者我誓不名毘沙門天王
護世者。若有善男子善女人等之種々意欲種々福

「四丁ウ

利種々善根利種々男子種々女子。種々農或乃至
言產業。或後人間愛念。或官位冠祿。或求夫。或求婦。
或乃至推覓一切福利之事及為无上菩提之修行
善根法。若在家若出家若山林若舍宅中。而造修檀
法或燒香燈油乃至以時花供養六時求法利。於當
知如是諸人衆者必如所思求。一切世間出世福德
之事九不滿足。如是毘沙門天王護世者。弘誓之深
如海。汝等救脫能思念之而應後天王之所說法。爾
時救脫菩薩復白佛言。善哉々々。毘沙門天王之誓
願如昔今。諸佛所說法今我等能應受是法。於当天

「五丁オ

(2) 門：「問」の誤りか。

訓読では「問」とする。

(3) 大：「天」の誤りか。

訓読では「天」とする。

(4) 逐：「遂」の誤りか。

以下、谷大本では「遂」

「逐」を区別していないた

め、指摘せず「遂」とする。

(5) 果：「果」の誤りか。

以下、谷大本では「果」

「果」を区別していないた

め、指摘せず「果」とする。

(6) 農：朱書異本注記、傍

注に「農イニ」、頭注に

「農カ」とある。

(7) 後：朱書訂正「復カ」。

訓読では「復」とする。

(8) 九：「无」もしくは

「非」の誤写か。訓読では

「无」とする。

王者像示忿怒能善巧方便而為衆生說愛敬之事於一切衆生七珍寶資財及福驗之利滿足辟如諸佛之儀式之行爾時佛告救脫菩薩我於所說之法亦復如是猶故於天王之法者應說我共而汝等當知天王俱聽受之爾時須臾之間後天雨七寶幡蓋乃至金色花而有會中覆於天王頂復次八万四千使者來而天王圍繞爾時天地六種震動時救脫菩薩見是未曾有而驚怖是事爾時救脫菩薩前而白佛言是何瑞是何術行言爾時佛告救脫菩薩當知是天王者能為諸佛之世尊所稱歎用是天王之請願

深於當雨如是大寶花及種々之金色珠當知是天王之威勢者巍々如是

爾時會中救脫菩薩及諸大羅漢衆皆悉聞佛所說毗沙門天王之善利法右繞三匝而退坐一面爾時有會天王三段前退而白佛言世尊願我為未來世一切衆生乃至行者而發弘誓之事若有行者歸依我法者當知我大心呪於一切世間出世間之福利或一切人天愛念或現在勝利果或无上菩提之善根種子或值遇弥勒佛功德因果或我現前因緣或遊戲三十三天自在之業如是種々之勝利乃至

王者像示忿怒。能善巧方便而為衆生說愛敬之事。於一切衆生七珍寶資財及福驗之利滿足辟如諸

(9) 用：朱書訂正「用」に「因」とある。

佛之儀式之行。爾時佛告救脫菩薩。我所說之法亦復如是。猶故於天王之法者應說我共。而汝等當知天王俱聽受之。爾時須臾之間從天雨七寶幡蓋乃至金色花而有會中覆於天王頂。復次八万四千使者來而天王圍繞。爾時天地六種震動。時救脫菩薩見是未曾有而驚怖是事。爾時救脫菩薩前而白佛言是何瑞是何術行。言爾時佛告救脫菩薩。當知是天王者能為諸佛之世尊所稱歎。用是天王之請願

「五丁ウ

深於當雨如是大寶花及種々之金色珍。當知是天王之威勢者巍々如是。

爾時會中救脫菩薩及諸大羅漢衆。皆悉聞佛所說毗沙門天王之善利法右繞三匝而退座一面。爾時有會天王三段前退而白佛言。世尊願我為未來世一切衆生乃至行者而發弘誓之事。若有行者歸依我法者當知我大心呪於一切世間出世間之福利。或一切人天愛念或現在勝利果。或无上菩提之善根種子。或值遇弥勒佛功德因果。或我現前因緣。或遊戲三十三天自在之業。如是種々之勝利乃至

「六丁才

五十勝果之功德皆令滿足如是目緣故我今說大
 心呪秘密陀羅尼即說呪曰
 阿他揭路^{句一}部咀羅夜耶^{句二}啼舍夜那^{句三}咬汝羅
 摩奴遮^{句四}摩訶曷羅遮^{句五}藥叉啼汝馱耶^{句六}
 黎莎訶^{句七}遮鉢梨婆咀遮^{句八}薩都馱耶^{句九}舍婆
 曼他^{句十}鷄吒羯你鉢梨薩你^{句十一}坦姪他^{句十二}俱鐘你俱
 你^{句十三}俱遮^{句十四}遮羅摩訶奴夜^{句十五}莫迦舍^{句十六}那那摩訶
 咀進遮莎訶
 爾時毘沙門天王護世者而白佛言我以是秘密藏

王呪令利益一切衆生所願福利滿足若有行者一
 心稱我名字及大心呪者於當知我住虛空之中聞
 行者音必令兩成就兩而令通行者當知是人常
 二十八部衆使者遣其住處而令衛護若行者我像
 造如芥子及持是經卷者於當知我通諸佛之境界
 而令滿足六波羅密行是人一切世間出世間之中
 令希有而无有上若常誦是秘密藏王呪者於當知
 通達八万四千法藏而如諸佛所說之智慧得現前
 後世遂不遮思惟是經卷及心呪者應到大信根之
 利譬如上所說法獲得福利之事亦復如是

五十勝果之功德皆令滿足。如是因緣故我今說大
 心呪秘密陀羅尼。即說呪曰。

阿他揭路^{句一} 部咀羅夜耶^{句二} 啼舍夜那^{句三} 咬汝羅

摩奴遮^{句四} 摩訶曷羅遮^{句五} 藥叉啼汝馱耶^{句六}

黎莎訶^{句七} 遮鉢梨婆咀遮^{句八} 薩都馱耶^{句九} 舍婆

曼他^{句十} 鷄吒羯你鉢梨薩你^{句十一} 坦姪他^{句十二} 俱鐘你俱

你^{句十三} 俱遮^{句十四} 遮羅摩訶奴夜^{句十五} 莫迦舍^{句十六} 那那摩訶

咀進遮莎訶。

爾時毘沙門天王護世者。而白佛言。我以是秘密藏

王呪令利益一切衆生所願福利滿足。若有行者一

心稱我名字及大心呪者。於當知我住虛空之中。聞

行者音必令兩成就兩而令通行者。當知是人常

二十八部衆使者遣其住處而令衛護。若行者我像

造如芥子及持是經卷者。於當知我通諸佛之境界

而令滿足六波羅密行。是人一切世間出世間之中

令希有而无有上。若常誦是秘密藏王呪者。於當知

通達八万四千法藏而如諸佛所說之智慧得現前。

後世遂不遮思惟是經卷及心呪者應到大信根之

利。譬如上所說法獲得福利之事亦復如是。

「七丁才」

「七丁才」

(10) 遮：朱書訂正「遮」、
 異体字の訂正か。

(11) 婆：朱書補入だが、さ
 らに見せ消ちあり。

(12) 善：朱書訂正・注記
 「喜力」。

尔時復毗沙門天王護世者而白佛言若有善男子
善女人若受持是經若讀誦是經若習持是心呪如
是功得者猶何處福利之

尔時佛告毗沙門天王護世者善哉善哉若男子譬
如所汝弘誓之深我念是經卷呪力并福利者不可
窮盡但以无量无边之劫應所得功德說若未來世
行者受持是經卷及心呪者於當知受持一切經哉
若持是天王像者於當知持一切聲聞辟支佛并皆
四王八部若於天王弘誓行修如是者如上所說之
事々獲得无量无边功德

尔時毗沙門天王護世者復而白佛言世尊我為未
來世行者而奉持秘密呪若行者誦我大心呪者當
如何得驗刀當如何蒙福利

尔時佛語毗沙門天王護世者若有行者誦天王心
呪十方遍者當知獲得五十五勝利之功德然汝天
王者當為我說法使我為汝父若未來世行者若男
若女若童男若童女是等衆生於歸依汝天王者我
歸依釋迦牟尼如來尔時佛欲重宣天王功德之利
而說偈言若有行者大心呪敬繫念意時先晨朝以
前嗑楊刮楷齒漱口洗手而當入堂時念誦天王名

爾時復毘沙門天王護世者。而白仏言。若有善男子
善女人若受持是經若讀誦是經若習持是心呪。如
是功得者猶何處福利之

爾時仏告毘沙門天王護世者。善哉善哉。若男子譬
如所汝弘誓之深。我亦是經卷呪力并福利者不可
窮盡。但以无量无边之劫應所得功德說。若未來世
行者受持是經卷及心呪者。於當知受持一切經哉。
若持是天王像者。於當知持一切聲聞辟支仏并皆
四王八部。若於天王弘誓行修如是者。如上所說之
事々獲得无量无边功德。

「七丁ウ

爾時毘沙門天王護世者。復而白仏言。世尊我為未
來世行者而奉持秘密呪。若行者誦我大心呪者。當
如何得驗刀當如何蒙福利。

(以下、七寺本を底本とする)

「八丁才

(13) 得…朱書見せ消ち。
(14) 刀…朱書訂正「力」。

利。時佛語毗沙門天王護世者若有行
 者讀天王心咒十萬返者當知獲得五十
 五勝利之功德然天王當為我說法便我
 為汝父若未來世行若男若女若童女如是
 等衆生於歸依汝天王者我歸依釋迦如
 來者爾時佛欲重宣天王功德之利而說
 偈言
 若有行者大心呪故繫念意時先晨朝
 以前啞楊刮楷齒漱口洗手而當入堂時念
 誦天王名字三之而向像滿咒十萬遍然六
 時行道如說修行其所得功德者今世後世
 之中不說盡爾時世尊重宣天王五十五
 勝利之業而為行者說偈言
 若有行者誦天王秘密王呪陀羅尼十方遍者
 當必獲得五十五勝利云何五十五勝利者
 一者不疾病苦二者不飢饉苦三者不盜賊
 苦四者不相斃生苦五者不願及鬼六者不

(首欠)

□□□□□□如何得驗力□如何□□□□¹⁶

利。□時仏語毘沙門天王護世者。若有行

者誦天王心呪十萬返者¹⁸。當知獲得五十

五勝利之功德。然天王當為我說法便□□²¹²²

為汝父。若未來世行若男若女若童女如是

等衆生於歸依汝天王者。我歸依釈迦如

來者²⁶。爾時仏欲重宣天王功德之利而說

偈言。

若有行者大心呪故繫念意時。先晨朝

以前啞楊刮楷齒漱口洗手。而當入堂時念

誦天王名字三之²⁷。而向像滿呪十萬遍。然六

時行道如說修行。其所得功德者今世後世

之中不說盡²⁸。爾時世尊重宣天王五十五

勝利之業而為行者說偈言。

若有行者誦天王秘密王呪陀羅尼十方遍者³¹

當必獲得五十五勝利。云何五十五勝利者。

一者不疾病苦。二者不飢饉苦。三者不盜賊

(15) 如：「知」谷大本、こ

れより前、六文字分欠損。

谷大本の「知何得驗力」以

下と一致する。以下、七寺

本を底本とする。

(16) □□□□「蒙福」谷大本

(17) □□□□「爾」谷大本

(18) 辺：「遍」谷大本

(19) 然：「然汝」谷大本

(20) 王：「王者」谷大本

(21) 便：「使」谷大本

(22) □□□□「我」谷大本

(23) 行：「行者」谷大本

(24) 童：「童男若童」谷大

本。

(25) 如：「ナシ」谷大本

(26) 釈迦如来者：「釈迦牟

尼如来」谷大本。

(27) 之：「ナシ」谷大本

(28) 不：「不可」谷大本

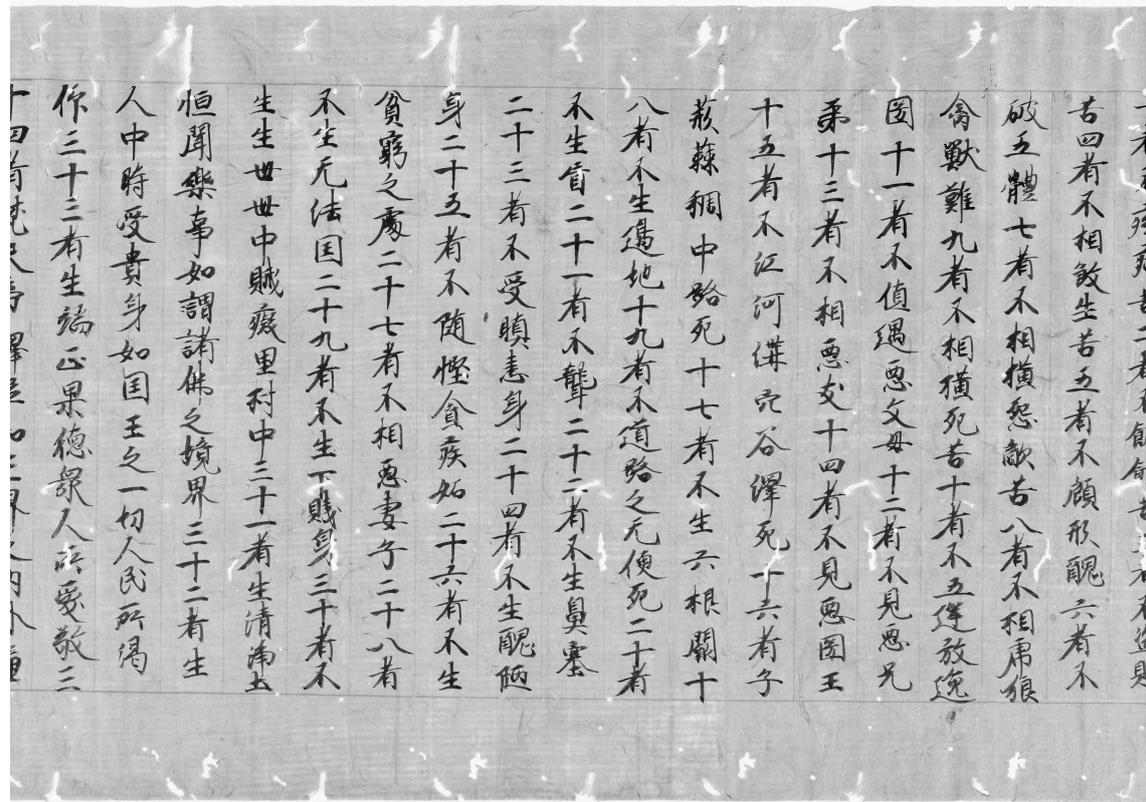
(29) 重宣：「欲重」谷大本

(30) 王：「藏王」谷大本

(31) 方：「万」谷大本

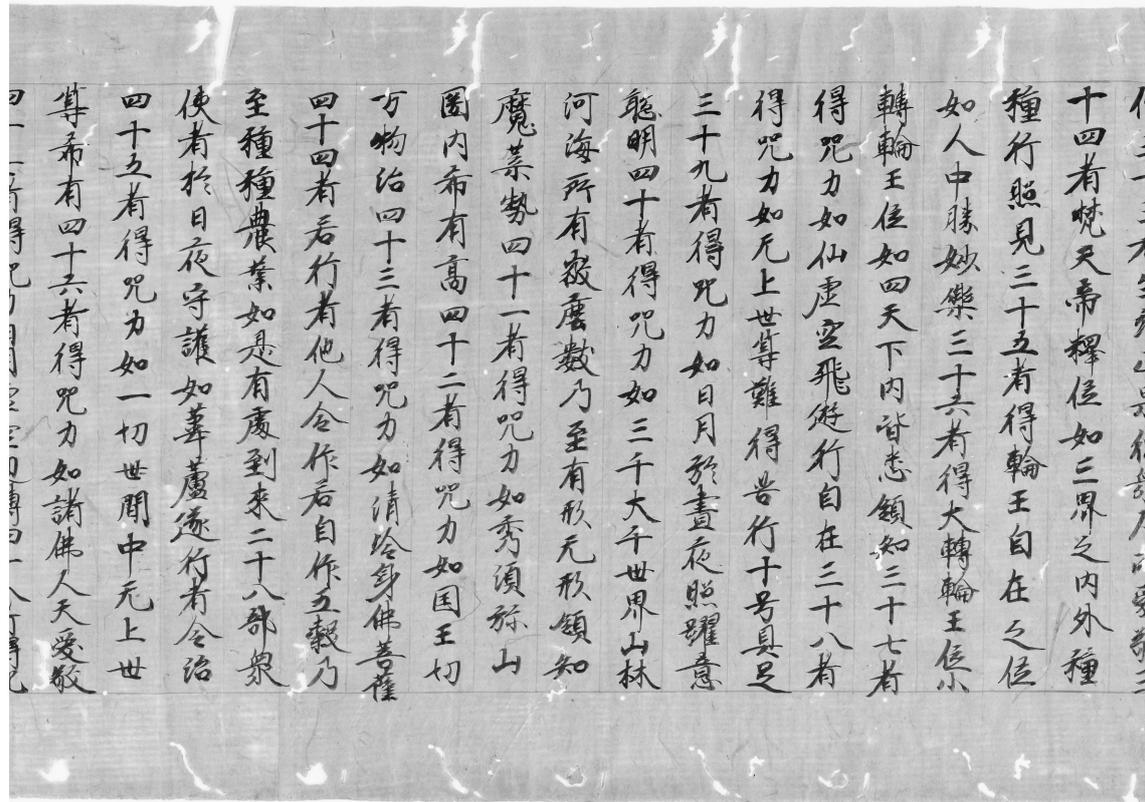
(32) 五十五：「五五十」谷

大本。



苦。四者不相殺生苦。五者不顧形醜。六者不
 破五體。七者不相橫怨敵苦。八者不相虎狼
 禽獸難。九者不相橫死苦。十者不五逆放逸
 國。十一者不值遇惡父母。十二者不見惡兄
 弟。十三者不相惡友。十四者不見惡國王。
 十五者不江河溝穴谷沢死。十六者子
 荆棘稠中路死。十七者不生六根闕。十
 八者不生辺地。十九者不道路之无便死。二十者
 不生盲。二十一者不聾。二十二者不生鼻塞。
 二十三者不受瞋恚身。二十四者不生醜陋
 身。二十五者不隨慳貪疾妬。二十六者不生
 貧窮之處。二十七者不相惡妻子。二十八者
 不生无法国。二十九者不生下賤身。三十者不
 生世世中賊痴里村中。三十一者生清浄土
 恒聞樂事如諸仏之境界。三十二者生
 人中時受貴身如国王之一切人民所渴
 仰。三十三者生端正果徳衆人所愛敬。三

(33) 七：「々」谷大本。
 (34) 横：「横」谷大本。
 (35) 不：「不生」谷大本。
 (36) 惡：「怨」谷大本。
 (37) 子：「不」谷大本。
 (38) 闕：「欠」谷大本。
 (39) 生盲：「盲生」谷大本。
 (40) 不：「不生」谷大本。
 (41) 疾：「嫉」谷大本。
 (42) 処：「家」谷大本。
 (43) 里：谷大本では「星」
 に朱書訂正で「里」。
 (44) 三：谷大本では墨書
 「二」に朱書で「三」に訂
 正。
 (45) 諸：「諸」の前に「謂」
 あり、見せ消ちあり。
 (46) 仰：谷大本では「作」
 に朱書訂正「仰」。



十四者梵天帝釈位如三界之内外種
 種行照見。三十五者得輪王自在之位
 如人中勝妙樂。三十六者得大轉輪王位(48)
 小
 轉輪王位如四天下内皆悉領知。三十七者
 得呪力如仙虛空飛遊行自在。三十八者
 得呪力如无上世尊難得苦行十号具足
 三十九者得呪力如日月於晝夜照耀意
 聰明。四十者得呪力如三千大千世界山林
 河海所有微塵數乃至有形无形領知
 魔藥勢(51)。四十一者得呪力如秀須弥山
 国内希有高。四十二者得呪力如国王切
 万物治。四十三者得呪力如清冷身仏菩薩。
 四十四者若行者他人令作若自作五穀乃
 至種種農業如是有処(53)到來二十八部衆(54)
 使者於日夜守護如葦蘆遂行者令治。
 四十五者得呪力如一切世間中无上世
 尊希有。四十六者得呪力如諸仏人天愛敬。

(47) 者…「者得」谷大本。
 (48) 位…「ナシ」谷大本。
 (49) 三…谷大本では空白に
 朱書「三」。
 (50) 得…「行」谷大本。
 (51) 藥…「業」谷大本。
 (52) 切…「一切」谷大本。
 (53) 処…「家」谷大本。
 (54) 部…「ナシ」谷大本。
 (55) 行…谷大本では「行」
 に朱書訂正「什カ」。

四十七者得呪力日月虚空廻轉四十八者得呪力如三十三天大菩薩遊戲四十九者得呪力如大福長家主五十者得呪力如師子王之勢五十一者得呪力如壽命堅固金剛山及四大海无動五十二者得呪力如諸菩薩中者最為佛第一五十三者得呪力若至病者之處忽然得療愈五十四者得呪力通達八方四千法藏自然如諸佛實性義五十五得呪力若行者臨命終時毘沙門天王行者口入金色寶光而遂得生弥勒三會之庭名速證无上菩提之果如是之事為得五十五勝利若有善男子善女人等若受持是經若書寫是經若誦是大心呪如說修行當知獲得上所說勝利若行者書寫是經不離常身頂戴者必當得如天王勢力之若有生疑輕者勿令得傳說一字所以者何是經諸佛世尊同共所窮盡唯雖

四十七者得呪力⁵⁶日月虚空廻轉。四十八者得呪力如三十三天大菩薩遊戲。四十九者得呪力⁵⁷如大福長家主。五十者得呪力如師子王之勢。五十一者得呪力如壽命堅固金剛山及四大海无動。五十二者得呪力⁵⁸如諸菩薩中者最為佛第一。五十三者得呪力若至病者之處⁵⁹忽然得療愈。五十四者得呪力通達⁶¹八方四千法藏自然如諸佛實性義。五十五得呪力若行者臨命終時⁶³毘沙門天王行者口入金色寶光。而遂得生弥勒三會之庭名速證⁶⁴无上菩提之果。如是之事為得五十五勝利。若有善男子善女人等若受持是經。若書寫是經。若誦是大心呪。如說修行。當知獲得上所說勝利。若行者書寫是經不離⁶⁶常身頂戴者。必當得如天王勢力之。若有生疑輕者。勿令得傳說⁶⁷一字。所以者何是經諸佛世尊同共所窮盡⁶⁸。唯雖

(56) 力…「力如」谷大本。
 (57) 力…「刀」谷大本。
 (58) 得…「得者」谷大本。
 (59) 処…「家」谷大本。
 (60) 急…内容から「忽」の誤写か。訓読では「忽」とする。
 (61) 方…「万」谷大本。
 (62) 五…「五者」谷大本。
 (63) 毘…「此毘」谷大本。
 (64) 名…「必」谷大本。
 (65) 如…「答如」谷大本。
 (66) 不離常…「常不離」谷大本。文法としては「不」の上にあるべき。
 (67) 得…「ナシ」谷大本。
 (68) 共…「ナシ」谷大本。



天心呪猶諸佛如來之異口同音秘密之
 呪若有行者聞經卷名字及天心呪而
 一誦讀一書乃如說勝行者於當知毗沙門
 天王護世到其居住處而令授東西南北
 四維上下福驗之利群如仙之令時復佛
 世尊欲重宣天王之現前目錄之利而
 說偈言

若有行者欲求羯羅闍之受樂當知每後
 後夜時向天王像高聲唱天王名字而
 向東方呪誦七遍而放遣次作使者印三
 段來去即便二十八衆使者到其思念之
 處引率臣男臣女而皆悉來隨念供養譬
 如佛之境界等若有行者欲求得驗者於
 當造作天王之像隨分應供養或復好
 誦呪十万而得聽利虛驗之若行者欲求
 官祿者燒名香燈白芥子油蘇蜜等供
 於像修行如是者於天王引率二十八衆使者

天心呪猶諸佛如來之異口同音秘密之⁽⁶⁹⁾
 呪。若有行者聞經卷名字及天心呪而
 一誦讀⁽⁷⁰⁾一書⁽⁷¹⁾乃如說勝行者。於當知毘沙門
 天王護世⁽⁷²⁾到其居住處而令授東西南北
 四維上下福驗之利。譬如仙之。爾時復佛
 世尊。欲重宣天王之現前因緣之利而
 說偈言、
 若有行者欲求羯羅闍之受樂⁽⁷⁵⁾。當知每後
 後夜時⁽⁷⁶⁾向天王像高聲唱天王名字。而
 向東方呪誦七遍而放遣。次作使者印三
 段來去即便二十八衆使者到。其思念之
 處引率臣男臣女⁽⁷⁹⁾。而皆悉來隨念供養譬
 如仙之境界等⁽⁸¹⁾。若有行者欲求得驗者。於
 當造作天王之像。隨分應供養。或復好
 誦呪十万而得聽利虛驗之。若行者欲求
 官祿者燒名香燈白芥子油蘇蜜等供⁽⁸⁶⁾
 於像修行。如是者於天王引率二十八衆使者

(69) 天：「天王」谷大本。
 (70) 行者：「ナシ」谷大本。
 (71) 經卷：「是經卷」谷大本。
 (72) 讀：「誦」谷大本。
 (73) 乃：「乃至」谷大本。
 (74) 護世：「護世者」谷大本。
 (75) 受：「愛」谷大本。
 (76) 後：「ナシ」谷大本。
 (77) 向：「四」谷大本。
 (78) 便：「ナシ」谷大本。
 (79) 臣男臣女：「善男子女」谷大本。ただし「子」は見せ消ち。
 (80) 皆：「ナシ」谷大本。
 (81) 仙：「諸仙」谷大本。
 (82) 十万：「十万遍」谷大本。
 (83) 聽：「聰」谷大本。
 (84) 虛：「靈」谷大本。
 (85) 蜜：「密」谷大本。
 (86) 供：「供養」谷大本。
 (87) 於：「當」谷大本。

到其國王舍宅之中於是人急令授官位祿
 之若復行者故夫一切人民愛念乃至降
 伏者執持白芥子蘇密等乃至種種名
 香安悉香或毗懃如或普梨連子等應
 供養之則毗沙門天王馳四天下通一切
 人衆而令愛敬之
 若復行者欲施糧臨命時天王之三段念心中
 而又三彈指者於當天王通四方舍宅而令自
 然供養若行者真教是是經而如說行者若
 遠若近於貴賤皆悉覺最聚於晝夜受念行
 者若有天王若不天王若天王像或山林空閑寂
 處若如真妙章句書寫是經受持是大心呪
 者於當知其功德之利不可窮盡俱以无量
 无边劫是經廣思者應說知之若不天王像
 時是經頂上戴受隨自念應教願爾時毗
 沙門天王於虛空中深演暢大音聲而於後
 夜之中間令聞行者是時當知如如仙靈

到其國王舍宅之中。於是人急令授官位祿
 之。若復行者欲求一切人民愛念乃至降
 伏者。執持白芥子蘇密等乃至種種名
 香安悉香。或毗懃伽或普梨連子等。必
 供養之。則毗沙門天王馳四天下通一切
 人衆而令愛敬之。⁽⁹⁴⁾
 若復行者欲施糧臨命時天王之三
 段念心中。而又三彈指者。於當天王通四方舍宅而令自
 然供養。若行者莫疑是是經而如說行者。⁽⁹⁵⁾
 遠若近於貴賤皆悉覺最聚。於晝夜受念行
 者。若有天王若不天王若天王像或山林空閑寂
 處。若如真妙章句書寫是經受持是大心呪
 者。於當知其功德之利不可窮盡。俱以无量
 无边劫是經廣思者應說知之。若不天王像
 時。是經頂上戴受隨自念應教願。爾時毗
 沙門天王於虛空中深演暢大音聲。而於後
 夜之中間令聞行者。是時當知如仙靈

- (88) 急…「忽」谷大本。
 (89) 執持…「而執持」谷大本。
 (90) 密…「蜜」谷大本。
 (91) 悉…「息」谷大本。
 (92) 懃…「根」谷大本。
 (93) 梨…「梨和」谷大本。
 (94) 令…「衆而令」谷大本。谷大本の衍字か。
 (95) 施…「絕」谷大本。
 (96) 命…「命終」谷大本。
 (97) 是…「ナシ」谷大本。衍字か。
 (98) 行…「修行」谷大本。
 (99) 覺最…「覺」谷大本。
 (100) 聚…「聚」谷大本。直前の「最」と誤字しているが、「聚」とする。
 (101) 受…「愛」谷大本。
 (102) 若…「若不」谷大本。
 (103) 是…「是經」谷大本。
 (104) 俱…「但」谷大本。
 (105) 王…「天王」谷大本。
 (106) 深…「ナシ」谷大本。
 (107) 後…谷大本では「復」に朱書訂正「後」。
 (108) 令聞…「聞令」谷大本。

驗自然來或復夢中見小子或大夫等
 時者好咒滿十方遍於當未滿咒者到天王
 威勢或見大海度或見杖執或見頸上大山
 時於當知蒙天王之弘誓勝利之事而於一切
 所歸信能獲得大饒益譬如諸佛所得福
 事若復夢見大河并谷澤渡或見思野越
 時者於當知超過三界之我見及有元見等
 煩惱之因而到毘沙門天王之居住處并子
 率之境界得无上果譬如諸佛所得之目
 果當能受持思念之而句傳愚者爾時
 行者勲應咒滿十方遍早速滿是一切
 願譬如上五十五勝利之事爾時毘沙門天
 王護世者前退而礼佛是即白佛言世尊願我
 於佛前而發慈悲心又為行者說功德之事
 利尔時佛語毘沙門天王護世者善哉善哉汝
 天王如所汝誓願我亦復如是於當說速而
 哀愍行者我亦汝弘誓受之尔時毘沙

驗自然來。或復夢中見小子⁽¹⁰⁹⁾或大夫等
 時者好咒滿十方遍⁽¹¹⁰⁾。於當未滿咒者到天王
 威勢。或見大海度⁽¹¹¹⁾。或見杖執⁽¹¹²⁾。或見頸上大山
 時於當知蒙天王之弘誓勝利之事。而於一切
 所歸信能獲得大饒益。譬如諸佛所得福
 事。若復夢見大河并谷沢渡。或見岡野越
 時者。於當知超過三界之我見及有元見等
 煩惱之國⁽¹¹³⁾。而到毘沙門天王之居住處并子
 率之境界⁽¹¹⁴⁾。得无上果。譬如諸佛所得之因
 果。當能受持思念之而句傳愚者。爾時
 行者勲應咒滿十方遍早速滿是一切⁽¹¹⁵⁾
 願。譬如上五十五勝利之事。爾時毘沙門天王
 護世者。前退而礼佛。是即白佛言。世尊。願我
 於佛前而發慈悲心。又為行者說功德之事
 利。爾時佛語毘沙門天王護世者。善哉善哉。汝
 天王如所汝誓願。我亦復如是。於當說速而
 哀愍行者。我亦汝弘誓受之。爾時毘沙

(109) 小…「少」谷大本。
 (110) 方…「万」谷大本。
 (111) 度…「渡」谷大本。
 (112) 執…「執持」谷大本。
 (113) 河…「海」谷大本。
 (114) 國…「因」谷大本。
 (115) 子率之…「率階之」谷
 大本、また「率」に朱書訂
 正「率」。
 (116) 得…「而得」谷大本。
 (117) 所得…「得」谷大本。
 (118) 句…「勿」谷大本。
 (119) 方…「万」谷大本。
 (120) 王…「ナシ」谷大本。
 (121) 仏…「ナシ」谷大本。
 (122) 弘誓…「弘誓必聽」谷
 大本。



門天王護世者。為行者欲重宣弘願而說言。

願我為行者 慈悲作第一 願我為行者 哀愍而作父 願我為行者 令愛念人間 當知我誓願 最而行者善 當知蒙弘說 我大呪力者 必能成正果 當知蒙弘力 而為行者愛 若行者說呪 復為如是等 我誓發大願 是故當思之 若生疑令者 速而應是去 一切世間人 是人應憚乖 唯能如經說 受持是經者 世間出世間 常應到此處 或遣使者衆 或我天王等 及四王八部 當到是處護 如是事行者 當知為行者 必應成正果 復次發誓言 於我所說法 若求男而行 唯能誦我呪 端正善男等 滿月善女等 急令行此處 若遠若近行 四天王俱共 到彼行者所 於一切令敬 譬如无上尊 猶歸依我故 余時毗沙門天王復白佛言 我為未來世一切衆 生而作大歸依 所取頭三身名字 一者毗 沙門天王 護世者 二者羯吒天王 三者不

願我為行者 慈悲作第一 願我為行者

哀愍而作父 願我為行者 令愛念人間

當知我誓願 最而行者善 當知蒙弘說

我大呪力者 必能成正果 當知蒙弘力

而為行者愛 若行者說呪 復為如是等 我誓發大願

是故當思之 若生疑令者 速而應是去 一切世間人

是人應憚乖 唯能如經說 受持是經者 世間出世間

常應到此處 或遣使者衆 或我天王等 及四王八部

當到是處護 如是事行者 當知為行者 必應成正果

復次發誓言 於我所說法 若求男而行 唯能誦我呪

端正善男等 滿月善女等 急令行此處 若遠若近行

四天王俱共 到彼行者所 於一切令敬 譬如无上尊

猶歸依我故 爾時毘沙門天王復白佛言。我為未來世一切衆

生。而作大歸依所最顯三身名字。一者毘

沙門天王護世者。二者羯吒天王。三者不

(123) 說：「說偈」谷大本。

(124) 而：「為」谷大本。

(125) 當知蒙弘力 而為行者

愛：(ナシ) 谷大本。

(126) 說：「誦」谷大本。

(127) 當：「常」谷大本。

(128) 令：「念」谷大本。

(129) 憚：「增」谷大本。

(130) 發誓言：「誓言之」谷

大本。

(131) 若求男而行：「若求男

而行 若求女而行」谷大本。

(132) 急：「忽」谷大本。

(133) 行：「到」谷大本。

(134) 所：谷大本では「處」

に朱書訂正「處」。



思議王。示如是三身之字。唯當維頭三身。猶以本願力故。或示菩薩之像。或示天王之體。或示忿怒之身。或示愛敬降伏之心。或示三世王。或示平等性智之形。雖示如是種種名字。遂為行者万億方便之事現前。而以本願名字度衆生。稱是而毘沙門天王護世者。譬如諸仏世尊之於一乘別三乘。我亦復如是。爾時仏觀天王弘誓而告大衆。汝等能坤巧弁方便。而心聞是天王種種之善。爾時會中大衆而白仏言。世尊。我等必欲聞天王功德。願世尊說之。爾告大衆并諸一切衆生等。而是大王弘誓无数劫不説書。若男子等如説造像書經滿呪供壇天王唱名字。名當蒙天王之守護。若有行者每後夜名字一百八遍者。二十八部使者來集。其行者房側随侍衛護。若善男子願供遇弥

- (135) 字…「名字」谷大本。
 (136) 維…「雖」谷大本。
 (137) 本…「大」谷大本。
 (138) 忿…谷大本では「怨」に朱書訂正「忿」。
 (139) 而…「而為」谷大本。
 (140) 別…「分別」谷大本。
 (141) 坤巧弁…「巧弁」谷大本。
 (142) 善…「善利」谷大本。
 (143) 必…「ナシ」谷大本。
 (144) 爾…「爾時仏」谷大本。
 (145) 大…「天」谷大本。
 (146) 无…谷大本では「元」に朱書訂正「无カ」。
 (147) 書…「尽」谷大本。
 (148) 男…「善男」谷大本。
 (149) 天…「向天」谷大本。
 (150) 名…「必」谷大本。
 (151) 蒙…「ナシ」谷大本。
 (152) 後夜…「夜夜」谷大本。一文字目の「夜」に朱書見せ消ち。
 (153) 名…「称名」谷大本。
 (154) 部…「衆」谷大本。
 (155) 願供…「欲値」谷大本。

勒佛於如所說是經卷勝利之事應修行
 當以天王弘誓力必得值遇而天王者三
 世慈父遂遂衆生而令向趣於无上道
 復次善男子我今說天王畫像及威力之事
 緣若有行者造作天像時如紺瑠璃并金色
 面令示忿怒於當知以右手令執持降伏大跋
 折羅杖然左足邁造監婆像右足邁造毘藍
 婆像而天王座者如大智平等須弥山并大魔
 降伏壇但細應見儀軌序當知如來如是者
 世間出世間大智平等法若行者多煩惱業及饑
 飢疾病盜賊之難滅時若屢掃一切難而即皆
 悉消除若行者身根清淨福慧德增長若
 修行時若坊一切惡及毘那藥迦等者二十八部
 衆使者常打退而不得其便伺若修行至一日
 二日三日乃至七日或或一年二年三年之
 內常誦大心呪者復每時稱名字當知其目
 緣之奉行功不滿一年期到威勢如上所

勒仏。於⁽¹⁵⁶⁾如所說是經卷勝利之事應修行。
 當以天王弘誓力必得值遇。而天王者三
 世慈父。遂⁽¹⁵⁷⁾遂衆生而令向趣於无上道。
 復次善男子。我今說天王画像及威力之事
 緣。若有行者造作天像時。如紺瑠璃并金色
 面。令示忿怒。於⁽¹⁵⁸⁾當知以右手令執持降伏大跋
 折羅杖。然左足邁造監婆像。右⁽¹⁵⁹⁾邁造毘藍
 婆像。而天王座者如大智平等須弥山。并大魔
 降伏壇但細⁽¹⁶⁰⁾應見儀軌序。當知如來如是者
 世間出世間大智平等法。若行者多煩惱業及饑
 飢⁽¹⁶¹⁾疾病盜賊之難滅時者。屢⁽¹⁶²⁾掃一切難而即皆
 悉⁽¹⁶³⁾消除。若行者身根清淨福慧⁽¹⁶⁴⁾增長。若
 修行時若坊⁽¹⁶⁵⁾一切惡及毘那藥迦等者。二十八部
 衆使者常打⁽¹⁶⁶⁾退。而不得其便伺。若修行至一日
 二日三日乃至七日。或⁽¹⁶⁷⁾或一年二年三年之
 內。常誦大心呪者復每時稱名字。當知其因
 緣之事。行功不滿一年期到威勢。如上所

(156) 於：「於當」谷大本。
 (157) 遂遂：「遂」谷大本。
 (158) 令：「今」谷大本。
 (159) 以：「以左手令押腰」
 以」谷大本。
 (160) 右：「右足」谷大本。
 (161) 細：「細」谷大本。
 (162) 是：「是持」谷大本。
 (163) 疾：「疫」谷大本。
 (164) 除：「滅」谷大本。
 (165) 德慧：「轉倒符による修
 正。」谷大本。
 (166) 坊：「妨」谷大本。
 (167) 惡：「惡鬼」谷大本。
 (168) 打：「行」谷大本。
 (169) 或：「ナシ」谷大本。

說但信耳。若有行者習誦是心呪者。當知
 領悟万善方便之事。乃至樂說辯才自然智
 慧。終不廢忘。若復有人為惡鬼所打不得差。不
 於耳邊呪呪七遍。即時除愈一切有病。若行者
 誦一遍者。能除一切苦厄難。若誦二遍者。除滅
 億劫生死重罪。若誦三遍者。三時現前。乃至
 通達八万四千法藏。漸自然。若誦四遍者。惣
 種種法門。終不忘失。若誦五遍者。速得无上
 正等菩提果。譬如先所說五十五勝利之果。
 若誦一月二月三月或三年之內者。天王
 則現隨行者。供給。譬如使者天王衛護。行者
 如是。若行者如經卷誦者。當知諸佛所說及
 天王誓願。如是行者。當知為是修行。若少勿生
 疑。諸佛所說呪道十号。佛及天王示如是。爾時
 救脫菩薩前白佛言。是毘沙門天王弘誓。猶
 如諸先所說法。是天王者。於最為後世衆生
 慈父。譬如上所說。

小守書古文先菩薩經卷之四 女等法以子等

說但信耳。若有行者習誦是心呪者。當知
 領悟万善方便之事。乃至樂說弁才自然智
 慧。終不廢忘。若復有人為惡鬼所打不得差。不
 於耳邊呪呪七遍。即時除愈一切有病。若行者
 誦一遍者。能除一切苦厄難。若誦二遍者。除滅
 億劫生死重罪。若誦三遍者。三時現前。乃至
 通達八万四千法藏。漸自然。若誦四遍者。惣
 種種法門。終不忘失。若誦五遍者。速得无上
 正等菩提果。譬如先所說五十五勝利之果。
 若誦一月二月三月或三年之內者。天王
 則現隨行者供給。譬如使者天王衛護。行者
 如是。若行者如經卷誦者。當知諸佛所說及
 天王誓願如是。行者當知為是修行。若少勿生
 疑。諸佛所說呪道十号。佛及天王示如是。爾時
 救脫菩薩前白佛言。是毘沙門天王弘誓。猶
 如諸先所說法。是天王者於最為後世衆生
 慈父。譬如上所說。

(170) 慧：「惠」谷大本。
 (171) 不於：「者」谷大本。
 衍字か。
 (172) 呪：「誦」谷大本。
 (173) 三：「三昧」谷大本。
 (174) 自然：「自然覺」谷大本。
 本。
 (175) 惣：「惣持」谷大本。
 (176) 或：「及」谷大本。
 (177) 現：「現前」谷大本。
 (178) 誦：「習誦」谷大本。
 (179) 若：「若或行者」谷大本。
 本。
 (180) 示：「亦」谷大本。
 (181) 諸：「諸佛」谷大本。

尔時佛告救脫菩薩善哉汝等能以巧弁力
問天王所由緣天王亦復如是汝天王者能為
一切衆生行者譬如所發願我亦如是爾時
會中大阿羅漢衆及諸一切世間天人阿
修羅等聞佛所說皆大歡喜信受奉行

佛說毗沙門經

曩莫吠室羅摩拏野摩阿泥波羅惹某
南无蘇都帝

一校了 榮俊

爾時佛告救脫菩薩⁽¹⁸²⁾。善哉。汝等能以巧弁力
問天王所由緣⁽¹⁸³⁾。天王亦復如是。汝天王者能為
一切衆生行者⁽¹⁸⁴⁾。譬如所發願。我亦如是。爾時
會中大阿羅漢衆及諸一切世間天人阿
修羅等。聞佛所說皆大歡喜信受奉行。

佛說毗沙門經

曩莫吠室羅摩拏野摩阿泥波羅惹某
南无蘇都帝⁽¹⁸⁵⁾

一校了 榮俊

(182) 菩薩：「菩薩言」谷大本。

(183) 行者：「行者父」谷大本。

(184) 如：「如汝」谷大本。

(185) 摩：「麼」とすべきか。

(186) 曩莫吠室羅摩拏野摩阿泥波羅惹 某甲南无蘇都帝

泥波羅惹 某甲南无蘇都帝
：(ナシ) 谷大本。

仏説毘沙門天王秘密蔵王呪経 訓読

凡例

一、これは『仏説毘沙門天王秘密蔵王呪経』の翻刻に従い訓読を行ったものであるが、変則的な漢文であるため、無理に訓読した箇所がある点をご理解いただきたい。

一、翻刻上で誤写と判断した箇所、もしくは対校によって使用する文字を定めた箇所については、訓読上には原則示さない。

この訓読に際して上杉智英先生、新田優先生に多大なるご助言を頂戴しましたことをここに記して感謝申し上げます。

仏説毘沙門天王秘密蔵王呪経 三蔵法師恵情詔を奉りて訳す。

是の如く我は聞く。一る時、仏が薄伽梵^②の北方の鬱檀林宅中^③に在して、大苾芻衆^④、万二千人と俱なりき。皆な是れ大阿羅漢の衆なり。爾の時、会中に一りの菩薩摩訶薩有り。名づけて救脱菩薩^⑤と曰う。即ち是れ菩薩にして上首^⑥なり。復た八千菩薩及び天衆有り。復た次に会中に一りの大王有り。名づけて毘沙門天王護世者と曰う。復た是の王の前後に二十八部の使者^⑦並びに八万四千の使者^⑧有りて天王を衛護す。即ち是の王三世の善利に通ず。

爾の時、会中に救脱菩薩有り。即ち座従り起して合掌して仏に向かいて是の言を作す。

何の因縁と方便を以て、名づけて毘沙門天王護世者と曰うか。

爾の時仏、救脱菩薩に告げて言わく、

善きかな善きかな。善男子よ、汝の問う所、能く大利有り。汝等当に知るべし。善く能く諦聴せよ、善く能く諦聴せよ。当に思念の事に於いて、我今汝が為に天王の弘願の法を説くべし。若し聞かば汝等当に大信力を生ずべし^⑩。

爾の時仏、救脱菩薩及び会中の大衆等に語らく、

而して是の毘沙門天王護世者、我が往昔の説法中に大誓願を發す。然して天王誓いて言く、「若し未來世の一切衆生の願求する所の万種の事、乃至无上菩提の善利、遂に果たさざれば、我誓いて毘沙門天王護世者と名のらず」と。

若し善男子善女人等有りて、種々の意欲、種々の福利、種々の善根利、種々の男子、種々の女子、種々の農、或いは乃至産業と言ひ、或いは復た人間の愛念、或いは官位冠祿、或いは夫を求め、或いは婦を求め、或いは乃至一切福利の事、及び无上菩提の爲の修行・善根の法を推し^{さぶ}覺むるに、若しくは在家、若しくは出家、若しくは山林、若しくは舍宅中にして檀法を造修し、或いは焼香灯油乃至時花を以て六時に供養し法利を求む。

当に知るべし、是の如き諸人衆は必ず思求する所の如き一切世間出世の福德の事、満足せざること無し。是の如く毘沙門天王護世者の弘誓の深きこと海の如し。汝等救脱、能く之れを思念して、応に天王の所説の法を修すべし。

爾の時救脱菩薩、復た仏に白して言さく、

善きかな善きかな。毘沙門天王の誓願、昔今の如し。諸仏所説の法、

今我等能く応に是の法を受くべし。当に天王は像に忿怒を示し、能く善巧方便して衆生の為に愛敬の事を説く。一切衆生の七珍宝資財及び福縁の利を満足すること、辟うるに諸仏の儀式を行ずるが如し。

爾の時、仏、救脱菩薩に告げたまわく、

我所説の法は亦復た是の如し。猶お故に天王の法は応に我と共に説くべし。而して汝等当に知るべし。天王と俱に之れを聴受すること。

爾の時、須臾の間、天従り七宝の幡蓋乃至金色の花を雨ふらして会中に有りて天王の頂を覆う。復た次に八万四千の使者来りて天王を圍繞す。爾の時天地六種に震動す。時に救脱菩薩是の未曾有を見て是の事に驚怖す。爾の時救脱菩薩前みて仏に白して言さく、「是れ何れの瑞にして是れ何れの術行うぞ」と言ふ。爾の時仏、救脱菩薩に告げたまわく、

当に知るべし、是の天王は能く諸仏と世尊に称歎せられたる。是れに因つて天王の請願深くして、当に是の如く大寶花及び種々の金色の珍を雨ふらす。当に知るべし、是の天王の威勢は巍々にして是の如くなることを。

爾の時会中の救脱菩薩及び諸大羅漢衆、皆悉く仏の説く所の毘沙門天王の善利の法を聞きて、右繞三匝して退きて一面に座す。

爾の時会有りし天王、三段前に退して仏に白して言さく。

世尊よ。願わくは我れ未來世一切衆生乃至行者の為に弘誓の事を發さん。若し行者有りて我が法に帰依せば当に知るべし、我が大心呪を以て一切世間出世間の福利、或いは一切の人天の愛念、或いは現在の勝利果、或いは无上菩提の善根種子、或いは弥勒仏に値遇する功德因果、或いは我が現前の因縁、或いは三十三天を遊戯すること自在の業。是の如き

種々の勝利乃至五十の勝果の功德、皆な満足せしむ。是の如き因縁の故に我今大心呪秘密陀羅尼を説く。

即ち呪を説きて曰く、

阿他掲路 二句。部咀羅夜耶 三句。啼舍夜那 三句上字。岐汝羅摩奴遮 一四句上音反。摩訶揭羅遮 一五句同上。菓叉啼汝駄耶 一六句下音。三曼他遮鉢梨婆咀遮 一八。薩都娑駄耶 一九句下音反。舍婆梨莎訶 一十音呼。遮々捺伴写 一十一上同反。爾捺舍 一十二上音呼。善曼他 一十三。鷄吒羯囉鉢梨薩爾 一十四。怛姪他 一十五。俱鉢爾俱爾 一十六。俱遮岐遮羅摩訶奴夜 一十七。莫迦舍 一十八。那那摩訶咀進遮莎訶。

爾の時毘沙門天王護世者、仏に白して言さく、

我は秘密藏王呪を以て一切衆生を利益せしめ、願する所、福利満足なり。

若し行者有りて一心に我が名字及び大心呪を称さば、当に知るべし、我虚空の中に住して、行者の音を聞きて必ず兩ねて成就せしめ、兩ねて行者に通せしむ。当に知るべし、是の人に常に二十八部衆の使者を其の住処に遣して衛護せしむることを。

若し行者、我が像を芥子の如く造り、及び是の経巻を持さば、当に知るべし、我諸仏の境界に通じて六波羅密行を満足せしむると。是の人一切世間出世間の中に希有にして上の有ること无からしむ。

若し常に是の秘密藏王呪を誦さば、当に知るべし、八万四千の法藏に通達して、諸仏所説の智慧を現前に得るが如し。後世に遂め、是の経巻及び心呪を思惟し遮らざれば、応に大信根の利に到るべし。譬うるに上

の所説の法の如く、福利を獲得する事も亦復た是の如し。

爾の時復た毘沙門天王護世者、仏に白して言さく、

若し善男子善女人有りて、若しくは是の経を受持し、若しくは是の経を誦誦し、若しくは是の心呪を習持せば、是の如き功は猶お何れの処の福利か。

爾の時仏、毘沙門天王護世者に告げたまわく、

善きかな善きかな。若し男子、譬えば汝の弘誓深き所の如し。我亦た是の経巻呪力並びに福利は窮め尽すべからず。但だ无量无边の劫を以て応に功德を得る所なるべしと説く。

若しくは未来世の行者、是の経巻及び心呪を受持せば、当に知るべし、一切経を受持することを。

若しくは是の天王像を持せば、当に知るべし、一切声聞辟支仏並びに皆四王八部を持つることを。

若しくは天王弘誓の行是の如く修せば、上の如く説く所の事々、无量无边の功德を獲得することを。

爾の時毘沙門天王護世者、復た而して仏に白して言さく、

世尊よ。我未来世行者の為に秘密呪を奉持す。若し行者我が大心呪を誦せば、当に知るべし、何の験力を得べきことを。当に如何んが福利を蒙るべきか。

爾の時仏、毘沙門天王護世者に語らく、

若し行者有りて、天王の心呪を十万返読まば、当に知るべし、五十五勝利の¹⁴功德を獲得することを。然して汝天王よ、当に我の為に法を説き、我を汝の父と為らしむべし。若し未来世の行者、若しくは男、若しくは

女、若しくは童男童女、是の如き等の衆生、汝天王に帰依する者は、我釈迦牟尼如来に帰依するなり。

爾の時仏、重ねて天王の功德の利を宣べんと欲して、偈を説きて言く、

若し行者有りて、大心呪を故に¹⁵念意に繋ける時には、先ず晨朝以前に啞楊刮揩齒、澡口、洗手し、而して堂に入る時に当たり、天王名字三つ念誦し、而して像に向い呪十万遍に満ち、然して六時の行道、説の如く修行せば、其れ得る所の功德は、今世後世の中に説き尽くすべからず。

爾の時世尊、重ねて天王の五十五勝利の業を宣べて行者の為に偈を説きて言く、

若し行者有りて天王秘密藏王呪陀羅尼を十万遍誦せば、当に必ず五十五勝利を獲得すべし。云何んが五十五勝利とは、一には疾病の苦なし。二には飢饉の苦なし。三には盜賊の苦なし。四には殺生の苦に相わず。¹⁶五には形の醜なるをを顧りみず。六には五体を破らず。七には横に怨敵の苦に相わず。八には虎狼禽獸の難に相わず。九には横死の苦に相わず。十には五逆放逸なる国に生ぜず。十一には悪父母に値遇せず。十二には悪兄弟に見わず。十三には悪友に相わず。十四には悪国王に見えず。¹⁷十五には江・河・溝・穴・谷・沢にて死なず。十六には荆棘の稠える中の路で死なず。十七には六根を闕して生ぜず。十八には辺地に生ぜず。十九には道路の便无きところで死なず。二十には盲に生ぜず。二十一には聾に生ぜず。二十二には鼻塞を生ぜず。二十三には瞋恚の身を受けず。二十四には醜陋の身に生ぜず。二十五には慳貪嫉妬に随わず。二十六には貧窮の家に生ぜず。二十七には悪妻子に相わず。二十八には無法の国に生ぜず。二十九には下賤の身に生ぜず。三十には生生世世、賊痴の里

村中に中たらず。三十一には清淨の土に生じ、恒に樂事を聞くこと、諸
仏の境界の如し。三十二には人中に生ずる時に國王の如き一切人民に渴
仰せらるる貴き身を受く。三十三には端正にして衆人に愛敬せらるる果
徳を生ず。三十四には梵天帝釈の位を得て三界の内外の種種の行を照見
するが如し。三十五には輪王自在の位を得ること、人中の勝妙の樂の如
し。三十六には大轉輪王の位、小轉輪王の位を得て四天下の内を皆悉く
領知するが如し。三十七には呪力を得ること、仙が虚空を遊行自在に飛
ぶが如し。三十八には呪力を得ること、无上世尊が難行苦行し十号を具
足するが如し。三十九には呪力を得ること、日月が昼夜に照耀し意聰明
なるが如し。四十には呪力を得ること、三千大千世界の山林河海あらゆの所有
る微塵數乃至有形无形の魔業勢を領知するが如し。四十一には呪力を得
ること、秀でたる須弥山の国内の希有なる高さの如し。四十二には呪力
を得ること、國王の一切万物を治するが如し。四十三には呪力を得ること
と清冷な身なる仏菩薩の如し。四十四には若し行者が他人に作らしめ、
若しくは自ら五穀乃至種種の農業を作らば、是の如く有る処に二十八部
衆の使者が到来し、日夜に守護すること葦蘆の如くし、遂に行者をして
治めしむ。四十五には呪力を得ること、一切世間中の无上世尊の希有な
るが如し。四十六には呪力を得ること諸仏人天の愛敬するが如し。四十
七には呪力を得ること、日月の虚空に廻轉するが如し。四十八には呪力
を得ること、三十三天大菩薩の遊戲するが如し。四十九には呪力を得る
こと、大福長家の主たるが如し。五十には呪力を得ること師子王の大勢
なるが如し。五十一には呪力を得ること壽命堅固にして金剛山及び四大
海の不動なるが如し。五十二には呪力を得ること諸菩薩中には最も仏第

一と為すが如し。五十三には呪力を得ること病者の処に至りて忽然と療
愈を得るが如し。五十四には呪力を得ること、八万四千の法藏に通達し、
自然に諸仏の実性の義の如し。五十五には呪力を得ること、行者命終に
臨まんとする時、毘沙門天王が行者の口に金色の寶光を入れ、遂に弥勒
三会の庭に生じ、必ず速証无上菩提の果を得るが如し。是の如き事の五
十五勝利を得るなり。

若し善男子善女人等有りて、若しくは是の經を受持し、若しくは是の
經を書写し、若しくは是の信心呪を誦し、説の如く修行すれば、当に知
るべし、上に説く所の勝利を獲得せんことを。若し行者が是の經を書写
し、常に身から離さず頂戴せば、必ず当に天王勢力の如きを得べし。若
し疑輕を生ずること有らば、一字も伝え説かしむること勿し。所以は何
とならば、是の經、諸仏世尊と同じく共に窮め尽くす所なり。唯だ天王
の心呪、猶お諸仏如来の異口同音の秘密の呪のごとしと雖も、若し行者
有りて、是の經卷、名字及び信心呪を聞きて、一誦一書乃至説の如
く修行せば、当に知るべし、毘沙門天王護世者、其の居住処に到りて東
西南北四維上下に福験の利を授けしむることを。譬うるに仙の如し。

爾の時復た仏世尊、重ねて天王の現前の因縁の利を宣べんと欲して偈を説
きて言く、

若し行者有りて、羯羅闍17の樂を受けんと欲せば、当に知るべし、毎
後夜時に天王像に向いて高声に天王の名字を唱えて、東方に向いて呪誦
七遍して放遣18し、次に使者の印を作りて三段に來去せば、即ち二十八衆
の使者到り、其の思念の処に善男善女を引率す。而して皆悉く來たりて、
念に隨いて供養すること、譬うるに仏の境界に等しき19が如し。

若し行者有りて、験を得んことを欲求せば、当に天王の像を造作し、分に随いて応に供養すべし。或は復た好く誦呪十万遍せば、聡利・靈験を得。

若し行者、官禄を欲求せば、名香を焼き白芥子の油を灯し、蘇蜜等を像に供養し修行すべし。是の如くせば、当に天王二十八衆の使者を引率して、其の国王の舍宅の中に到り、是の人に忽ちに官位の禄を授けしむ。若し復た行者、一切人民の愛念乃至降伏を欲求せば、白芥子蘇蜜等乃至種種の名香、安悉香、或は毘勲伽²⁰、或は普梨連子²¹等を執持し、応に之れを供養すべし。則ち毘沙門天王、四天下を馳し、一切人衆を通して之れを愛敬せしむ。

若し復た行者、糧を絶して命終に臨まんと欲する時、天王の三段、心中に念じて、又た三禪指せば、当に天王、四方舍宅を通して自然に供養せしむ。

若し行者、是の経を疑うこと莫く、説の如く修行せば、若しくは遠、若しくは近、貴賤皆悉く競い聚まりて、昼夜に行者を愛念す。若しくは天王有れども、若しくは天王なくとも、若しくは天王像なくとも、或いは山林空閑寂処にて、若し真妙の章句の如く是の経を書写し、是の小心呪を受持せば、当に知るべし、其の功德の利、窮尽すべからざることを。但だ无量无边劫を以て是の経を広めんと思わば、応に之れを知ると説くべし。若しくは天王像不からん時、是の経を頂上に戴き受け、自念に隨いに発願すべし。

爾の時毘沙門天王、虚空中に於いて、大音声を演暢して、後夜の間に行者に聞かしむる。

是の時、当に知るべし、仙の靈験の自然に來たるが如きを。

或いは復た夢中に小子、或いは大夫等を見る時は、呪すこと好く十万遍を満たせ。当に未だ呪を満たさざれば天王の威勢に到る²²。

或いは大海を度らんことを見る、或いは杖を執持するを見る、或いは頸の上に大山を見る時は、当に知るべし、天王の弘誓の勝利を蒙る事を。而して一切の帰信する所、能く大饒益を獲得す。譬うるに、諸仏の得る所の福事の如し。

若しくは復た夢に大河并に谷沢を渡るを見る、或いは岡野を越ゆるを見る時は、当に知るべし、三界の我見及び有无見等の煩惱の因を超過して、毘沙門天王の居住処、并に子率²³の境界に到り、无上の果を得ることを。譬うるに諸仏の因果を得るが如し。当に能く受持思念して、愚者に伝うること勿れ。爾の時行者、勲に応に呪すこと十万遍に満ちて早速に是の一切の願を満つべし。譬うるに上の五十五勝利の事の如し。

爾の時毘沙門天王護世者、前に退きて²⁴仏を礼す。是れ即ち仏に白して言さく、

世尊よ。願わくは我仏前にして慈悲心を發して、又た行者の為に功德の事の利を説かんことを。

爾の時仏、毘沙門天王護世者に語らく、

善きかな善きかな。汝天王、汝の誓願する所の如く、我も亦復た是の如し。当に速に哀愍の行者に説くべし。我も亦た汝の弘誓を必ず聴きて之れを受くべし。

爾の時毘沙門天王護世者、行者の為に重ねて弘願を宣べんと欲して、偈を説きて言く、

願わくは我行者の為に 慈悲を第一と作すことを
願わくは我行者の為に 哀愍して父と作ることを
願わくは我行者の為に 人間を愛念せしむることを
当に知るべし我が誓願 最たる行者の善為り
当に知るべし仏説を蒙りて 行者の愛と為す
我が大呪力は 必ず能く正果を成ず
当に知るべし仏力を蒙りて 行者の愛と為す²⁵
若し行者呪を誦すこと 復た是等の如く為せば
我誓つて大願を發す 是の故に常に之れを思うべし
若し疑念を生ずる者 速に応に是を去るべし
一切世間の人 是の人応に憚り乖るべし
唯だ能く經に説くが如く 是の經を受持せば
世間出世間 常に応に此の処に到るべし
或いは使者衆を遣し 或いは我天王等
及び四王八部 当に是の処に到り護るべし
是の如き事、行者 当に知るべし行者の為に
必ず応に正果を成ずべしと

復た次に誓言を發す

我が所説の法に於いて 若しくは男を求めて行じ
若しくは女を求めて行じ 唯だ能く我が呪を誦さば
端正なる善男等 満月なる善女等
忽に此処に到らしむ 若しくは遠く若しくは近く行じて
四天王俱共に 彼の行者の所に到り 一切に敬わしむこと

譬うるに无上尊の如し 猶お我に帰依するが故に

爾の時毘沙門天王、復た仏に白して言さく、

我²⁶未來世一切衆生の為に大歸依所を作し、最たるも三身名字を顯す。

一は毘沙門天王護世者、二は羯咤天王²⁷、三は不思議王²⁸。是の如き三身の

名字を示す。唯だ當に雜れ三身を顯すは、猶お本願力を以ての故なり。

或いは菩薩の像を示し、或いは天王の体を示し、或いは忿怒の身を示し、

或いは愛敬降伏の心を示し、或いは三世の王を示し、或いは平等性智の

形を示す。是の如く種種の名字を示すと雖も、遂に行者の為に万億の方

便の事を現前し、而して本願の名字を以て衆生を度す。是れを稱して毘

沙門天王護世者とするなり。譬うるに諸仏世尊の一乘に三乘を別つが如

し。我も亦復た是の如し。

爾の時仏、天王の弘誓を觀て大衆に告げたまわく、

汝等能く、巧方便を受け²⁹、應に是の天王の種種の善を聞くべし。

爾の時、会中の大衆、仏に白して言さく、

世尊よ、我等必ず天王の功德を聞かんと欲す。唯だ願わくは世尊、之

れを説きたまえ。

爾の時仏、大衆並びに諸の一切衆生等に告ぐ、

是の天王の弘誓、无数劫に説き尽くせず。若し善男子等、説の如く造

像書經滿呪供壇して天王に向いて名字を唱うれば、必ず當に天王の守護

を蒙むるべし。若し行者有りて、毎後夜、名字一百八遍稱せば、二十八

部の使者来り集いて、其の行者の房の側に随侍衛護す。若し善男子、弥

勒仏に値遇せんことを欲せば、是の經卷に説く所の勝利の事の如く、応

に修行すべし。當に天王の弘誓力を以て、必ず値遇することを得べし。

而して天王は三世の慈父なり。遂に衆生を无上道に向い趣かしむ。

復た次に善男子よ。我今天王の画像及び威力の事縁を説く。若し行者有りて、天の像を造作せん時、紺瑠璃并に金色の面の如くにし、忿怒を示さしめよ。当に知るべし、左手を以て腰を押さえしめ、右手を以て降伏大跋折羅杖^{③①}を執持せしむ。然して左足辺に監婆像を造り、右足辺に毘監婆像を造る。而して天王座は大智平等にして須弥山の如し。并に大魔降伏壇^{③②}は但だ細しく^{くわ}応に儀軌の序を見るべし。当に知るべし、如来の是の如き持つものは世間出世間の大智平等の法なり。

若し行者、多くの煩惱業及び饑飢疾病盜賊の難を滅する時、撰する処の一切難即ち皆悉く消滅す。若し行者、身根清浄なれば福德慧增長す。若しくは修行の時、若しくは一切悪及び毘那葉迦^{③③}等を妨がば、二十八部衆使者は常に打ち追いて其の便伺を得ず。

若し修行すること一日二日三日乃至七日に至るまで、或いは一年二年三年の内、常に大心呪を誦さば、復た毎時名字を称さば、当に知るべし、其の因縁の事を。行功一年の期を満たずして威勢に到る。上に説く所の如く但だ信ずるのみ。若し行者有りて、是の心呪を習誦せば、当に知るべし、万善方便の事乃至楽説弁才自然智慧を領悟することを。終に魔忘せざれ。若し復た人有りて、悪鬼の打する所と為り、差えることを得ざれば、耳の辺に呪を七遍誦さば、即時に一切有病を除愈す。若し行者一遍を誦さば、能く一切苦厄難を除く。若し二遍誦さば億劫生死重罪を除滅す。若し三遍誦さば、三昧の時、現前乃至八万四千法蔵に通達すること漸に自然なり。若し四遍誦さば、惣じて種種の法門を持して終に忘失せず。若し五遍誦さば、速やかに无上正等菩提果を得。譬うる先の所説

の五十五勝利の果の如し。若し一月二月三月及び三年の内に誦さば、天王則ち現前し行者に随ひ供給す。譬うるに使者の天王を衛護するが如し。行者是の如し。若し行者、経卷の如く習誦せば当に知るべし、諸仏の所説及び天王の誓願、是の如きことを。行者、当に知るべし、是の修行を為すに、若し或る行者少しも疑を生ずること勿ければ、諸仏所説の呪道十号、仏及び天王、亦た是の如し。

爾の時、救脱菩薩、前みて仏に白して言さく、
是の毘沙門天王の弘誓、猶お諸仏先に説法する所の如し。是の天王は最も後世衆生の慈父為り。譬うに上の所説の如し。

爾の時、仏、救脱菩薩に告げて言く、
善きかな。汝等能く巧弁力を以てて天王の由縁の所を問う。天王亦復た是の如し。汝天王は能く一切衆生行者の父為り。譬うるに汝の發願する所の如し。我も亦た是の如し。

爾の時、会中の大阿羅漢衆及び諸一切世間天人阿修羅等、仏の所説を聞きて、皆大歡喜し信受奉行す。

仏説毘沙門経

曩莫吠室羅麼掣野摩阿泥波羅惹^{③④} 某甲

南无蘇都帝

注

(1) 恵情：詳細不明。『仏書解説大辞典』ではこの經典にのみ確認できる。

なお、『七寺古逸叢書』巻第四・巻第五において、七寺・青蓮院所蔵『大乘毘

『沙門功德経』の解題を著した齊藤隆信氏はこの著者について言及している。氏は『白寶口抄』（『凶像』七・一三七上）、『薄草子口決』（正蔵七九・二九七中）収録の目録の記述、青蓮院本序文の記述から『大乘毘沙門功德経』の訳者が「恩情」であることを指摘する。そして、それらの目録には『毘沙門天王秘密蔵王呪経』も、同じく訳者が「恩情」であると記されている。齊藤氏の青蓮院本『大乘毘沙門功德経』序文の「恩情」の経歴の要約を引用する。

恩情三蔵が十八歳で玄基三蔵に師事し、二十一歳で胡梵国に遊学して寶迎三蔵に値遇し、その地で百二十卷の『毘沙門経』を学んだこと。その後本国に帰国してこの経を皇帝に奉じたところ、恩情三蔵の名を授かり、更に勅を奉じて百二十卷のうち、七卷を翻訳したこと。そしてこれを諸州の小学に授けて諸法の道理を学ばせた（『七寺古逸経典研究叢書巻第五、二五五―二五六頁）

齊藤氏はここに登場する人物「玄基」「寶迎」、地名「胡梵国」の名称については實在不明とする。ともあれ、この經典は日本撰述經典であることから、この訳者「恩情」も實在しない人物であると考えられるが、その言及の中で大谷大学本『秘密儀軌集』所収本に記述される「恵情」についても言及しており、「恩情」と「恵情」が同一人物か否かについては判断を保留している。

- (2) 薄伽梵：仏の異名。位置として合っていない。「仏薄伽梵が」の誤りか。
- (3) 鬱檀林：場所名と考えられるが不明。「鬱陀仙」もしくは「鬱単越」の誤りか。
- (4) 苾芻衆：比丘。法成『般若波羅蜜多心経』に同一表現あり。
- (5) 救脱菩薩：病苦を癒し、厄難を救う菩薩。『灌頂経』『薬師本願経』などに説かれる。
- (6) 毘沙門天王護世者：毘沙門天。四天王のひとり。北方を守護し、夜叉・羅刹を率い、仏法を守護する善神。この表現は『法華経』巻第七（正蔵九・五九上）などと同一。
- (7) 二十八部使者：「二十八部衆」であれば千手観音の眷属。「二十八部衆」

であれば十方国土を守護する鬼神となるが、毘沙門天の使者・眷属とする表現は確認できず。定深『千手経二十八部衆釈』に「毘沙門二十八使者」と示す箇所がある（正蔵六一・七四九下）。

(8) 八万四千使者：毘沙門天の眷属の表現としては他本に確認できず。単に数が多いいことを示すのみか。

(9) 善能諦聴：「善」「能」それぞれでの表現は確認できるが、両者を並べた表現は確認できず。

(10) 当心生大信力：「当生大信力」は『法華経』巻第一（正蔵九・六上）に確認できる表現。

(11) 言う：表現が二重になっているが、意味が取れず。

(12) 三段前：他経では見えない表現。

(13) 芥子の如くに：とても小さく作るという意か。

(14) 五十五勝利：毘沙門天の功德。後述。

(15) 啞楊刮揩齒：洗歯のことを指すか。「刮舌揩齒」で多数用例があるため、

「舌」は脱字か。

(16) 相わず：日本語的表現。「会う」の意。

(17) 羯羅闍：二十八部衆のひとつか。

(18) 放遣：「発遣」の誤りか。

(19) 等：仏・等覚・妙覚などを指しての「等」の意ともとれるが、不明。

(20) 毘憍伽：不明。

(21) 普梨連子：不明。

(22) 或いは復た夢中に威勢に到る：意味としては「天王の威勢が到らない」という意になるべき。脱字か。

(23) 子率：不明。「都卒」の誤りか。

(24) 前に退きて：意味が取れず。

(25) 当に知るべし仏力を蒙りて 行者の愛と為す：谷大本にはナシ。この二偈前の文とほぼ一致する為、誤写の可能性もある。

(26) 我未来も亦復た是の如し：『薄草子口決』卷第二十（正蔵七九・二九五中）、『秘鈔問答』（正蔵七九・五三三上中）に引用あり。この部分について、柴田賢龍訳『訳注薄草子口決 本文和訳篇』（文政堂、二〇〇二）六二二頁を適宜参照した。

(27) 羯咤天王：不明。柴田賢龍訳『訳注薄草子口決訳注篇』（文政堂、二〇〇二、五五二頁）では、「羯咤」を鬼類の一種である「羯咤布单那（迦咤富单那）」の略もしくは毘沙門天が持つ宝棒（伽駄）を指すかと推定している。

(28) 不思議王：不明。

(29) 巧弁方便を受け：これでは意味が通らず。脱文・脱字あるか。

(30) 若し行者の像を造る：以下、『薄草子口決』卷第二十（正蔵七九・二九六中）、『秘鈔問答』（正蔵七九・五三四中）に「秘蔵王呪経」として引用あり。但し左右の手の造作は逆になっている。この部分について、柴田賢龍訳『訳注薄草子口決 本文和訳篇』六二五頁を適宜参照した。

(31) 降伏大跋折羅杖：「跋折羅」は「金剛」。金剛杵のこと。『訳注薄草子口決訳注篇』（五五六頁）では金剛杵を付した杖、三股戟を指すかとしている。

(32) 大魔降伏壇：不明。「壇」とあるため、図像の一部であると考えられる。

(33) 毘那葉迦：「毘那夜迦」ならば、大自在天とウマーとの長子。しかし意味としては「毘那耶伽」で障碍、困難、常随魔のことを指すか。

(34) 若し復た除愈す：『虚空蔵菩薩問七仏陀羅尼呪経』（正蔵二一・五六一下）にはほぼ同内容あり。

(35) 曩莫吠室羅摩拏野摩阿泥波羅惹：『毘沙門天王経』（正蔵二一・二二五上）には「曩謨吠室囉麼拏野摩賀囉惹」とある。